

地域の人材活用

知る・つながる・貢献する

協力・協働

感謝・貢献

1 本校区の実態

本校区においては、学校教育に対して協力的な地域の方が多い。また、「公務員ランナー」として著名で、ボストンマラソン優勝やミュンヘンオリンピック出場という輝かしい職歴を残した采谷義秋さんや、ジャズプレーヤーとして著名な坂田明さんを輩出した土地でもある。さらに、日本の伝統文化等においても、優れた能力や指導力を持つ人材も多く、教育的に大変恵まれた地域環境である。

2 地域の人材活用

小学校では、ふれあい参観日のふれあい活動として、地域の方をゲストティーチャーとして招き、毎年、昔遊び（こま、竹とんぼ、お手玉、あやとり、カードゲーム、将棋倒し、昔話、折り紙、ビー玉遊び等）や、絵手紙を教えてください。子どもたちにとっては初めての遊びもあり、地域の方に直接教えていただけることを喜び、感謝の気持ちをもって活動している。

中学校では、これまで、第8・9学年の「総合的な学習の時間」を活用して、日本の伝統文化の継承に主眼を置いた「日本文化講座」を開設してきた。平成28年より、その名称を「匠の時間」と改名し、「箏講座」、「尺八講座」、「書道講座」、「着物の着付け講座」を開設し、地域の匠をゲストティーチャーとして招き、各講座の知識・技能の習得を図っている。さらに、その集大成として、文化活動発表会である「広南劇場」で、演奏や展示を行うとともに、第9学年が小学校第5学年に「匠の技」を伝授するという「小中交流」を実施している。限られた時間の中で、いかに効果的に伝授できるかがポイントであったが、どの講座も第9学年が手分けをし、児童一人ひとりに丁寧に優しく教え、音を出すのが難しい尺八も音が出たり、手がかかる着物の着付けもできたりするようになった。第5学年の嬉しそうな顔と第9学年の指導後の達成感に満ちた表情が大変印象的であった。

また、道徳の時間においては、第8学年の「目標に向かう意志：『ランナー』」実施時に、上述した地元の著名なマラソンランナー采谷義秋さんを招聘し、輝かしい職歴の陰にあった挫折の日々を語っていただき、目標に向けて、困難に負けぬ強い意志を持つこと等、豊かな心の育成の一助となっている。



3 成果と課題

○学習指導要領にも謳われているように、グローバル人材の育成に向けては、まず、地域や我が国の伝統文化についての知識や理解が重要である。その意味で、地域の人材を活用し、日本の伝統文化の理解を図る取組は、郷土愛の育成や日本の伝統文化の継承に大いに意義ある企画・実践である。



○中学校では、第8・9学年における総合的な学習の時間の「匠の時間」だけではなく、第7学年においても、地域のゲストティーチャーから、音楽や国語の時間に、箏や尺八、書写の指導をしていただき、系統的な知識や技術の習得を図っている。第7学年で基礎を学ぶことが、第8・9学年の「匠の時間」で、より一層の習熟を図ることに繋がり、「教科横断型課題解決学習」として大きな意義がある。



○「匠の時間」の集大成として、文化活動発表会での発表・展示を通して、地域への貢献心や自尊感情の高揚が図れる。さらに、「小中交流」において、小学生に「匠の技」を伝授する取組を通して知識・技能の定着や自己効力感の高揚が図れる。R元年度は、小学生が「小中交流」で学んだことを邦楽鑑賞会で披露することができた。

●昨年、講師の高齢化に伴い、「茶道講座」の閉講を余儀なくされた。同様に、長期的な展望において高齢化が進み、地域の人材確保が懸念される。



【大好評を博した初の箏と尺八の共演】



【受講者全員での書道パフォーマンス】



【采谷 GT を招聘しての道徳授業】